

**製品名: Frizzled 8 (11I2) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11137**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500
分子量	73kDa

**抗原情報**

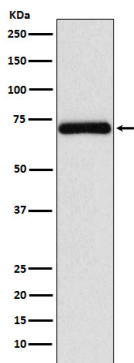
遺伝子名	FZD8
別名	Frizzled-8; FZ8; FZD8; hFz8;
遺伝子 ID	8325.0
SwissProt ID	Q9H461
免疫原	ヒト Frizzled 8 の合成ペプチド

**背景**

Wnt タンパク質受容体。Wnt-Fzd-LRP5-LRP6 複合体の構成要素であり、受容体-リガンド複合体をリポソームサイズのシグナロソームに凝集させることで  $\beta$ -カテニンシグナル伝達を誘導する。Wnt タンパク質受容体。Wnt-Fzd-LRP5-LRP6 複合体の構成要素であり、受容体-リガンド複合体をリポソームサイズのシグナロソームに凝集させることで  $\beta$ -カテニンシグナル伝達を誘導する。 $\beta$ -カテニンの標準的なシグナル伝達経路は、disheveled タンパク質の活性化、GSK-3 キナーゼの阻害、 $\beta$ -カテニンの核内蓄積、および Wnt 標的遺伝子の活性化につながる。PKC とカルシウムフラックスに関わる第二のシグナル伝達経路が、ファミリーメンバーの一部で確認されていますが、PKC は Wnt シグナル伝達による GSK-3 キナーゼの不活性化に必要であると考えられるため、これが独立した経路なのか、それとも標準経路に統合できるのかはまだ明らかではありません。どちらの経路も G タンパク質との相互作用を伴うと考えられます。組織形態形成中および / または分化組織において、極性情報の伝達および細胞間伝達に関与している可能性があります。WNT1 などの Wnt タンパク質の RYK と共に共受容体となります。

## 研究分野

## 画像データ



Jurkat 細胞溶解物における Frizzled 8 発現のウェスタン ブロット分析。